



© Teatro alla Scala



R RITSUMEIKAN

1/29
(土)

マリア・カラスの真実
CALLAS ASSOLUTA

対談：吉田寛 × 松原洋子

(立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授)

2/19
(土)

二草間彌生
ゆたし大好き

対談：建畠哲さん × 吉田寛

(国立国際美術館館長)

3/5
(土)

ファッションが
教えてくれること

対談：平芳裕子さん × 吉田寛

(神戸大学大学院人間発達環境学研究科講師)

企画コーディネート：神谷雅子（京都シネマ代表、産業社会学部教授）
松原洋子（立命館大学大学院先端総合学術研究科教授）
中村正（立命館大学大学院応用人間科学研究科教授）
村上潔（立命館大学衣笠総合研究機構ポスドクトラルフェロー）

立命館大学人間科学研究所・立命館大学生存学研究センター主催
公開講座 シネマで学ぶ「人間と社会の現在」シリーズ7

挑発する女たち

アートの臨界

会場：立命館朱雀キャンパス 5F 大講義室（ホール）

参加費：一般 ¥800 立命館大学教職員・学生 / 京都シネマ会員 ¥500

時間：13:00 開場 13:30 開演 (16:30 終了予定)

* 当日 13:00 よりチケットの販売を開始します（事前の受付及び整理券の配布はございません）
* 駐車場・駐輪場がございませんので、ご来場には公共交通機関をご利用下さい
* 満席の場合ご入場を制限させていただくこともございますのでご了承ください

主催：立命館大学人間科学研究所、立命館大学生存学研究センター

共催：京都シネマ

協力：セテラ・インターナショナル、マクザム、クロックワークス、B.B.B.inc

お問い合わせ先：立命館大学人間科学研究所 事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL：075-465-8358 FAX：075-465-8245

E-mail：ningen@st.ritsume.ac.jp

URL：http://www.ritsumeihuman.com/

本企画は、文部科学省グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点と私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「大学を模擬社会空間とした自立支援のための持続的対人援助モデルの構築」プロジェクトの研究成果です。



この公開講座は、映画が表象する「関係性の様態」を読み解きながら、「人間と社会の現在」について考える機会にしたいと願い企画されています。

上映後の対談や講義とあわせて、時には奇想天外で、たまには刺激的な、どちらかといえば胸さわぎのする発想に学びつつ、私たちの視界を広げる試みとして位置づけています。この企画は、結論のないあるいは結論がひとつではない対話を楽しむ「道楽」としてのシネマ人間学を楽しもうとするものです。

シリーズ7「挑発する女たち—アートの臨界」では、アートの世界で先鋭的な活動をしてきた女性たちのドキュメンタリー作品をとりあげます。彼女たちの活動を通じて、アートにおける創造と消費、魅せることと見られることの力学を捉え直し、「アートとは何か」という問題にまで迫ってみたいと思います。

講師紹介 LECTURER



・吉田寛（よしだひろし）・・・大学院先端総合学術研究科准教授（表象領域）。専門は、美学＝感性学、表象文化論。『ヴァーグナーの「ドイツ」』（青弓社）、『オペラ学の地平』（彩流社、共著）、『アドルノ 音楽・メディア論集』（平凡社、共訳）など。



・松原洋子（まつばらようこ）・・・大学院先端総合学術研究科教授。専門は、科学史。身体と技術の関係について研究している。『生命の臨界』（人文書院、共著）など。「生存学」創成拠点メンバーとして、難病患者が参加する舞踏ワークショップなども開催。



・建畠哲（たてはたあきら）さん・・・国立国際美術館館長。専門は、近現代美術。美術評論集に『問いなき回答』（五柳書院）、エッセイ集に『ダブリンの緑』（五柳書院）など。詩人としては詩集『零度の犬』（書肆山田）で高見順賞受賞。



・平芳裕子（ひらよしひろこ）さん・・・神戸大学大学院人間発達環境学研究科講師。専門は、ファッション文化論、表象文化論。『身体—皮膚の修辞学』（東京大学出版会、共著）、『人間像の発明』（ドメス出版、共著）、『ファッション・ブランド・ベスト 101』（新書館、共著）など。



© Publfoto - OLYCOM

1月29日(土) マリア・カラスの真実

2007/ フランス /98 分 /セテラ・インターナショナル、マクザム / 監督：フィリップ・コリー
出演：アリア・カラス、アリストテレス・オナシス、ルキーノ・ヴィスコンティ

20世紀最高と名高い歌姫マリア・カラスの実像に迫るドキュメンタリー。生い立ちからオペラ界に君臨した絶頂期、ゴシップの数々、そして孤独な晩年まで、本人の生の言葉や貴重な記録映像を交え、その波瀾万丈の生涯をたどる。海運王アリストテレス・オナシス、映画監督ルキーノ・ヴィスコンティなどそうそうたる顔ぶれが登場。オペラ歌手としての華やかな名声とは裏腹に、実はガラスのようにもろく繊細な彼女の真の姿を知ることができる。



© YAYOI KUSAMA

2月19日(土) 草間彌生 わたし大好き

2008/ 日本 /102 分 /B.B.inc./ 監督：松本貴子
出演：草間彌生 他

世界の美術界を走り続ける前衛芸術家・草間彌生を、1年半にわたり追い続けたアート・ドキュメンタリー。最新作となる F100 号のモノクロ作品シリーズ「愛はとこしえ」50 作の制作現場に密着し、世界が目にする草間芸術の生まれ出る瞬間を映し出す。監督は、ドキュメンタリー番組を多数手掛け、本作が劇場映画初作品となる松本貴子。今まで観ることの出来なかった、草間の創作活動と日常を垣間見ることができる。



©2009 A&E Television Networks & Actual Reality Pictures, Inc. All rights Reserved

3月5日(土) ファッションが教えてくれること

2009/ アメリカ /90 分 /クロックワークス / 監督：R・J・カトラー
出演：アナ・ウィンター、グレイス・コディントン、アンドレ・L・タリー

大ヒット作『プラダを着た悪魔』のモデルとも言われるアナ・ウィンターの実像に迫るドキュメンタリー。アメリカ女性の約 10 人に 1 人が読むアメリカ版「ヴォーグ」誌のカリスマ編集長として活躍し、ファッション業界に絶大な影響力を持つ彼女を追う。カール・ラガーフェルドからシエナ・ミラーまで、有名セレブも多数登場。トレードマークのボブカットとサングラスの陰に隠れ、誰も見ることができなかったアナの真の姿を目撃できる。